



みんなで子育て No.1

「子育て・親育ちのための保護者の学び」と「家庭教育学級で親同士の輪を広げる」を推進するために、この『みんなで子育て』通信をお届けします。家庭教育学級リーダーの皆さんが、悩んだり考えたりしている保護者の一人として、参加者と一緒に“親として成長し、親子で幸せなバースデイを迎える”という願いの実現のため、企画・運営のヒントとなる情報を提供していきます。ともに“幸せと笑顔の家庭教育学級”を創り上げていきましょう。



幸せと笑顔の家庭教育学級！

家庭教育学級は、

- ① “子育て”や“しつけ”について学んだり悩みを話し合ったりする場。
- ② 家庭教育のあり方を学び、自らを振り返る場。



本年度の計画立案をしましょう！

0 引継書と「みんなで子育て」(家庭教育学級運営マニュアル)を見ます。

- 前委員長からの引継書で、成果と課題を確認します。(アンケートの結果を重視)
- 県の「みんなで子育て」(家庭教育学級運営マニュアル)で、活動をイメージします。

1 家庭教育学級の「学びのテーマ」を決めます。

家庭教育学級は「親学びの場」です。年間を通して、何を大切にしていけるか、何をめざすかという視点で考えます。
(テーマ例)「楽しもう子育て！深めよう親同士の輪！」

2 外せない講座や時期の確認をします。

- 学校行事や季節と関係があるもの
- ぜひ、やってみたいもの(大事です)
- 毎年継続実施しているもの



3 学習内容や学習形態を決めます

学習内容は、子どもの発達段階や今日の課題から「学ぶべきこと」と、参加者の興味関心から「学びたいこと」を考慮し、テーマに沿った講座を考えます。

重点
取
組

- ① 「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を位置付ける。実施後の振り返りを大事にする。
- ② 5つの学習形態の特徴を生かし、型を組み合わせる。
「交流の場(サロン型)」で主体的な学びをする。
- ③ 「事前アンケート」でニーズの把握や、「事後のアンケート」による振り返りや効果をまとめ、広げる工夫をする。

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を推進してください。

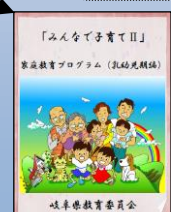


【5つの学習形態】

- A 学校行事参加型
- B 体験活動参加型
- C 講演会型
- D 子育てサロン型
- E 在宅取組型

4 急いで対応すべき内容の有無を確認して準備をします

- 日程調整が難しい講師の方をお願いする場合
- 事前の準備が長時間必要な場合
- 特別な会場確保が必要な場合
等を配慮します。



平成30年度家庭教育学級実施調査より 「参加率とテキスト活用の増加が顕著」

平成30年度の岐阜地区家庭教育学級の実施調査にご協力いただきありがとうございました。結果をお知らせいたします。参加者数は、幼・保6,932人、小学校71,008人、中学校19,975人となり、減少傾向に感じますが、中学校では5,510人の増加がありました。

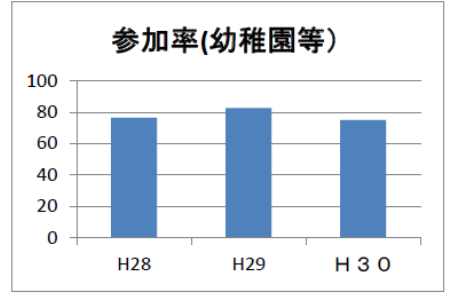
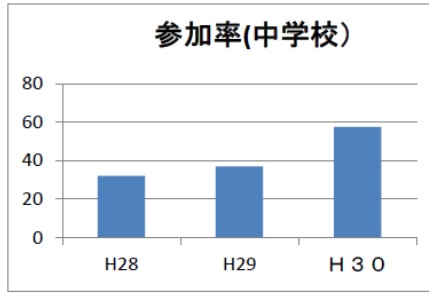
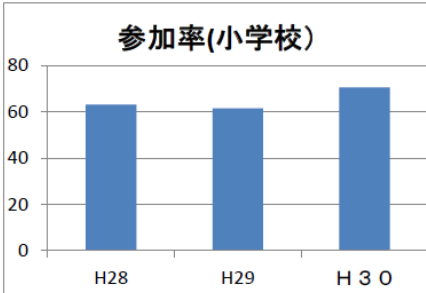
1 参加率の増加

注目したいのは、参加率です。回数は減少傾向ですが、参加率が上昇しています。理由として考えられるのは、実施内容が精選されつつあること、もう一つは「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の実施によるものだと考えています。

小学校	H28	H29	H30
参加率	63.2	61.4	70.5
回数	596	692	608
参加者	56,498	80,538	71,008

中学校	H28	H29	H30
参加率	32	36.9	57.5
回数	207	254	239
参加者	13,396	19,975	25,485

幼稚園等	H28	H29	H30
参加率	76.4	82.9	75
回数	96	111	111
参加者	6,145	8,043	6,932



2 テキストの活用の増加

テキストの利用にかかわっては、「家庭教育学級運営マニュアル」の活用が上昇したことがわかります。これは、改訂されたテキストが、昨年の5月のリーダー研修会で新しく配布されたことが大きくかかわっていると考えられます。ここには、

- 家庭教育学級についての説明
- 家庭教育学級の進め方について、手順や案内の例、事前事後のアンケート例、事後の広報等、
- 子どもの発達段階と家庭教育の課題・家庭教育に関する法律等、活動事例紹介、参考資料紹介

といった内容があり、運営のよりどころとなるものです。初めて担当した方にとってはとても参考になるものです。引き継いでいけばいいのですが、なくしている場合もあります。その際は、

「岐阜県HP→教育・文化・スポーツ・青少年→生涯学習・青少年(社会教育)→家庭教育学級→「みんなで子育て」家庭教育学級運営マニュアル」と進んでいただければ「みんなで子育て」家庭教育学級運営マニュアルを見ることができます。ほかにも事例や、プログラムも紹介されています。一度ご覧になってください。

「家庭教育学級運営マニュアル」の1ページ目

親としての人生を歩んでいるわたしたち
子育てのひとつひとつはじめてのことはばかり
子ども1年過ごした日は、親にとって1歳のバースデー
あせらず、あわてず、あきらめず
子どもとともに、親も2歳3歳と年齢を重ねていこう
子どもが笑うとき、親も一緒に心から笑えたい
子どもが不安を感じ、迷い、悩むとき、
できれば人生の先輩として子どもの心に灯りをともしてあげたい
それでも時には、親としてこれでいいのかと悩む日もある
大丈夫、それもあなたにとって大切な日々
だってわたしたちは子育てをとおして成長し続けていくのだから
困ったときは、一人で悩まずSOS
SOSは、愛情に満ちた学び続ける親の証
ともに悩み、ともに学ぼう
子どもが学び成長するように、
大人も学び成長しよう
家庭教育学級は、そんな学びを応援します
親子で毎年幸せなバースデーを迎えられますように...

年度	テキスト活用(小学校)					
	I	II	III	IV	V	VI
30	74	46	74	3	77	88
29	45	1	43	3	72	
28	55	1	50	0	82	

年度	テキスト活用(中学校)					
	I	II	III	IV	V	VI
30	31	22	33	2	25	43
29	19	1	19	3	21	42
28	25	1	20	1	38	

年度	テキスト活用(幼稚園等)					
	I	II	III	IV	V	VI
30	7	6	2	11	10	
29	3	3	0	8	9	
28	3	5	0	6		

●小・中学校の項目

- I 「家庭教育学級運営マニュアル」の活用
- II 「家庭教育学級プログラムII (乳幼児編)」の活用
- III 「家庭教育学級プログラムIII (小・中学校編)」の活用
- IV 「家庭教育学級プログラムIV (次世代編)」の活用
- V 開催日時の工夫
- VI 型の組み合わせ

●幼稚園等の項目

- I 「家庭教育学級運営マニュアル」の活用
- II 「家庭教育学級プログラムII (乳幼児編)」の活用
- III 「家庭教育学級プログラムIII (小・中学校編)」の活用
- IV 開催日時の工夫
- V 型の組み合わせ

実態調査の結果からは「家庭教育プログラム」の活用が増加していることがわかります。特に「乳幼児編」「小中学校編」の活用が増えています。取材にあたった園・学校でも、アイスブレイクやサロン型を役員による進行や講師が進める研修にも利用されていました。会の雰囲気盛り上げ、学びを高める内容です。参考にしてください。

3 「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の取組が多様化

岐阜地区の取組状況は、類似も合わせて、小学校は60%、中学校は70%、幼稚園は48%でした。調査票の定義では、①～③の段階を経ていく中でコミュニケーションを深めるとしています。

- ①家族で話し合っ、て、「わが家の約束」を決定する。
- ②取組を実践カード等（県HP版または各校で作成されたもの）に記録する。
- ③実践中や実践後、家庭で互いの思いを伝え合う。

取組名は、下表のとおりです。なお、内容項目は、岐阜県家庭教育支援条例に示されている9つの項目をもとに分類しています。

平成30年度「話そう！語ろう！わが家の約束」

- (i) 約束運動55校・園等 90件（幼4園 6件、小38校62件、中13校22件）
- (ii) 類似活動73校・園等139件（幼5園19件、小54校99件、中13校21件）

<内容項目>	件数	取組名の例
1 基本的な生活、習慣	51	「話そう、語ろう、わが家の約束」、家庭学習チャレンジ週間、親子歯磨き習慣、「親子でやってみよう!」、元気な歯を作ろう
2 自立心	38	親子お弁当づくり、レッツ・チャレンジ(料理)、ふれあいデイはおにぎりデイ、おにぎりを作ろう
3 自制心		お小遣の使い方を見直す
4 善悪の判断		
5 あいさつ、礼儀		おはよう ハグ、親子でスキンシップ
6 思いやり	21	ボランティアカードの取組、親子読書(障がいに関する絵本)ほめほめ週間
7 命の大切さ	7	「わが家の防災会議」、災害時の対応、あいうべ体操
8 家族の大切さ	79	秋の図書館まつり お家読書、親子読書、親子でハグ、ギュッしてほかほかハグチャレンジ、1日チャレンジ(できたらハグ)、家族みんなで「 ー! 」!
9 社会のルール	29	ノーテレビ・ノーゲームデー、はやくねよう&アウトメディア、メディアコントロール、「ノースマホ・ノーゲーム・ノーTV週間&家庭学習強化週間」
	229	



●取組期間に特徴があります。

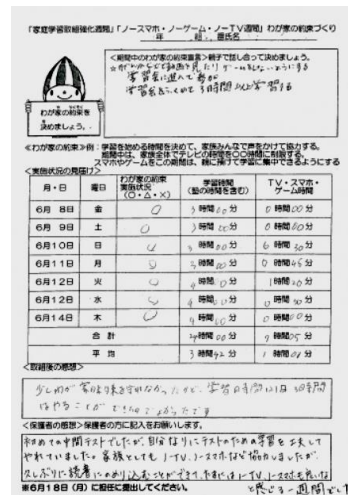
①キッズウィーク中の取組がされています。

取組期間は、多くが夏休み、冬休みの長期休業中ですが、今年はキッズウィーク中にこの活動を取り入れた学校が羽島市、岐南町にありました。内容は「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を行い、各家庭での取組が行われました。短期間での取り組みができることで、意識の継続ができていました。

②中学校区での取組が盛んです。

取組期間が中学校の「定期テスト事前学習期間中」に行われ、校区でノーテレビ・ノーゲームとして、学ぶ雰囲気づくりをしたり、メディアを避け、読書に取り組んだりした地域もありました。

山口市・本巣市・各務原市・羽島市で行われています。この中学校区の取組が小中連携・小小連携を進める良い機会になっているようですね。



③「お弁当の日」に向けての取組

「食育」は家庭教育学級でよく取り上げられています。給食試食会も多くされています。家庭での取組は、「お弁当の日」に向けての練習を家族で行うという内容や、「お弁当」は無理なので「おにぎりをつくろう」に取り組まれたところもありました。「お弁当の日」が定着していると、その日に向けての取り組み方がいろいろ工夫できそうです。

④「読書週間」や「図書館祭り」を通じた取組も多くあります。

読書や読み聞かせの良さは、よく言われているところです。親が絵本を読むことで、子どもの脳の発達を促すとも言われます。保育所・園、幼稚園でもよく取組まれています。

「わが家の約束運動」は、保育所で行われる家庭教育学級に仕事で参加できなくても、一緒に活動を行い、その振り返りで学ぶことが多くあると委員長が話されていました。深い意味があると感じています。今年度の取組にも多くの参加が期待されます。



家庭教育学級

トップ > 教育・文化・スポーツ・青少年 > 生涯学習・青少年 > 社会教育 > 家庭教育学級の取り組み紹介

家庭教育学級の取組を紹介します

県内で実施された家庭教育学級の取組の一部を紹介します。
園や学校の行事日に合わせて家庭教育学級を開催したり、5つの型の学習形態をうまく組み合わせたりすることで、親の学びや子どもたちに還元される継続した学びが生み出されています。

- ◆平成23年度
- ◆平成24年度
- ◆平成25年度
- ◆平成26年度
- ◆平成27年度
- ◆平成28年度
- ◆平成29年度
- ◆平成30年度

平成30年度岐阜地区の実践として、5例紹介しています。

- 休業中（キッズウィーク）我が家の約束運動
コンプリメントトレーニング（子ども理解）
- 認知症サポーター養成講座（社会問題・子どもの生き方）
- ありのままのわが子を受け入れるために～性について学ぼう～（性教育）
- 親子サッカー教室（子どもの健康）

- 岐南町立東小学校
- 岐阜市立岐阜清流中学校
- 羽島市立福寿小学校
- 北方町立学校4校合同
- 本巣市立弾正幼稚園

「話そう！語ろう！わが家の約束」の
実践カード【ワード版】を今年も送付し
ます。ご活用ください。

また、家庭教育学級を充実させたいと思っている方に参考としていただける、次の資料もご活用ください。

- ◆家庭教育学級などの企画、運営方法を知りたい方へ「みんなで子育て」家庭教育学級運営マニュアル
- ◆家庭教育学級や学級懇談会の進め方に一工夫したい方へ
「みんなで子育てII」家庭教育プログラム乳幼児期編
「みんなで子育てIII」家庭教育プログラム小・中学校編
「みんなで子育てIV」家庭教育プログラム次世代編

「みんなで子育て」家庭教育学級運営マニュアル
家庭教育プログラム等 が取り出せます。P6には
サロン型の説明があります。

講演会型+サロン型（中学校）

学校名等	岐阜市立岐阜清流中学校
実施日時	平成30年6月8日（金）10時～12時
会場	岐阜清流中学校アゴラ室
参加人数	34名
学習課題（分野）	コンプリメントトレーニング（子ども理解）
運営者の願い	昨年度PTA役員が、コンプリメントについて校長先生から学ぶ中で、このお話しは是非会員にも伝えたいと感じたことや、講演会をサロン形式で雰囲気を感じて上げたいと考えて開催された。

学習の内容

講師：山田隆徳 校長

<開講式>
・成人教育委員長：今年のテーマ「知る、語る、繋がる」のための第1回であり、講演であるが、サロン形式で話し合いができるように設定。特別支援学級のけやきのお菓子作りの学習（途中で案外）との連携もしていることを紹介される。

<講演会>
最初にはPTA司会者によるアイスブレイク
自己紹介：わたしは〇〇年山田です。私の子は〇〇年で〇〇が良いです（長さをいう）を言う
大家盛り上がり、話が弾む
・じゃんけんゲーム：校長のじゃんけんに乗けた人が勝つ。これも盛り上がる。賞品もあり

●講話 講師：本紹介「森田直樹：不登校は9%解決する」と「コンプリメントで子育ての悩みは解決する」。

①子どもの気になる事：
中学生になると子どもも変化が気になるが聞けない。
男と女の脳の違い（黒川伊保子氏より）母親であるから言えることがある

●サロン形式が自然
・グループが編成され、最初のアイスブレイクで雰囲気良くくなり、盛り上がりを作っている。サロン形式に慣れているようで進め方が意図的です。
・校長先生のプレゼンを使っているのわかりやすい事例の紹介やゲーム形式の進行で「ほめること、ほめ方」についての理解が高まっています。

サロンの実践です。

【子育てサロン型運営のポイント】…

話しやすい雰囲気づくり

司会者（進行役）の心構えとポイント

子育てサロン型の家庭教育学級に参加する人は、いろいろな願いをもっています。

- ・悩み事を解決したい人
- ・話を聞いてもらいたい人
- ・話聞いてもらいたい人
- ・みんなの話を聞いて、「自分だけじゃなかった」と安心したい人
- ・自分の経験を誰かに伝えたい人
- ・新しい仲間をつくりたい人

ひとつのテーマについて自由に話し、それぞれが自分の願いを叶えられるよう、話しやすい雰囲気をつくり出すのが司会者（進行役）の一番の役割です。

- ・参加者の不安を取り除くため、自らを語り、話しやすい雰囲気をつくる
- ・互いの経験からともに学ぶため、経験談を引き出す
- ・話が盛り上がっているときは、その場の雰囲気を見守る
- ・参加者同士で「3つの約束」を確認し、司会者がまづ守るようにする

<3つの約束>
参加：参加者は全員平等ですから、全員が参加できるように心をくばります
尊重：お互いの意見や感じ方を尊重し、否定や押し付けをせず、パスも認めます
守秘：信頼関係の上での交流ですから、個人情報に関わる内容は口外しません

平成31年度 家庭教育学級リーダー研修会

- 幼・保の部 2019年5月27日（月） 9:30～12:00 岐阜県総合教育センター
- 小学校の部 2019年5月13日（月） 9:30～12:00 大会議室（4F）
- 中学校の部 2019年5月27日（月） 14:00～16:30 （岐阜市藪田南5-9-1）

- <持ち物> ①平成31年度 家庭教育学級年間活動計画の資料（約束運動を位置付ける） 各校10部
②「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の実践カード・案内文書等
③家庭教育学級運営マニュアル「みんなで子育て」（ピンク色の冊子持参）

- ・「みんなで子育てII」（家庭教育プログラム：乳幼児期編）
- ・「みんなで子育てIII」（家庭教育プログラム：小・中学校編）
- II、IIIについては、引き継いでいるものを持参

お願い：小学校の部に参加の方は、駐車場に限りがありますので公共交通機関などのご利用にご協力ください。

